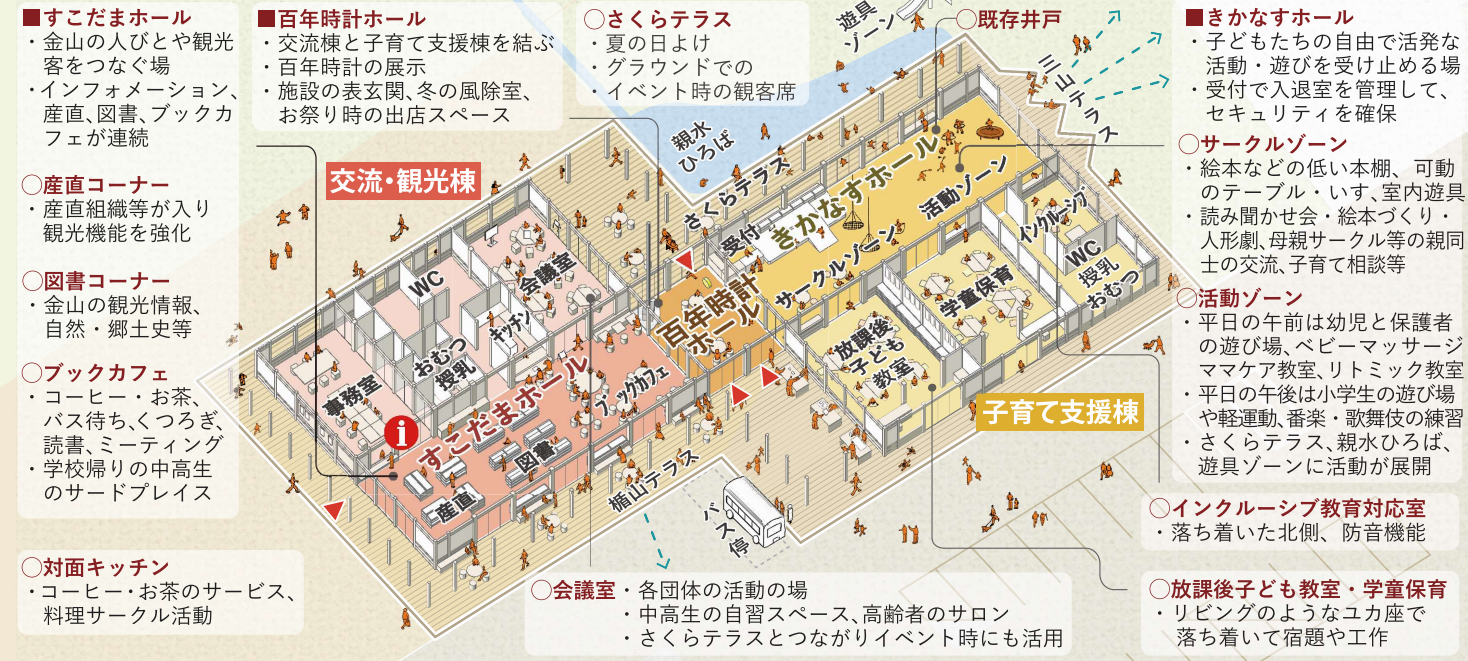


テーマに対する技術提案

金山の人びとや訪れる人びとがつながり、多様な活動で賑わう場、
金山の輝く未来を拓く子どもたちが、自由に活発に活動できる場、
金山杉のすばらしさを体感できる場を、金山大工の技でつくります



利用者の多様な交流と活動が生まれる「すこだまホール」 課題(1)

- 様々な地域や世代の人びとが集い、活動し、賑わいと新たな交流が生まれる場
- インフォメーション・産直・図書・ブックカフェが連続するすこだまホールに事務室・会議室が面する構成
- 産直コーナー：産直組織等が入ることにより、観光機能を強化
- 図書コーナー：自然・郷土史など金山の魅力を伝える本の配置、観光・イベント情報の展示

- ブックカフェ：お茶やコーヒーを飲みながらバス待ち、くつろぎ、読書、ミーティング
- 学校帰りの中高生が、おしゃべり、宿題・勉強
- 様々な大きさ・形のテーブルやいすを用意
- 対面キッチン：コーヒー等のサービス、料理サークル
- 会議室：芸術文化協会、若者ボランティアサークル、青年・婦人団体等の活動の場
- 中高生の自習スペース、高齢者のサロンにも活用



子どもたちの自由に活発な活動・遊びを受け止める「きかなすホール」 課題(2)

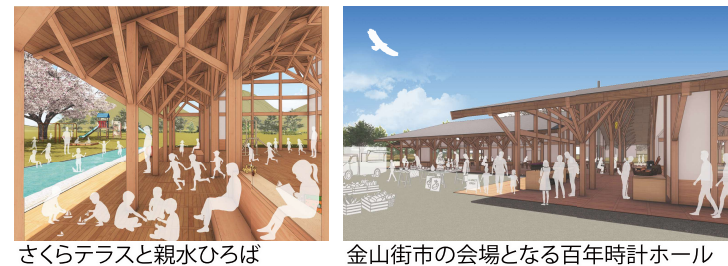
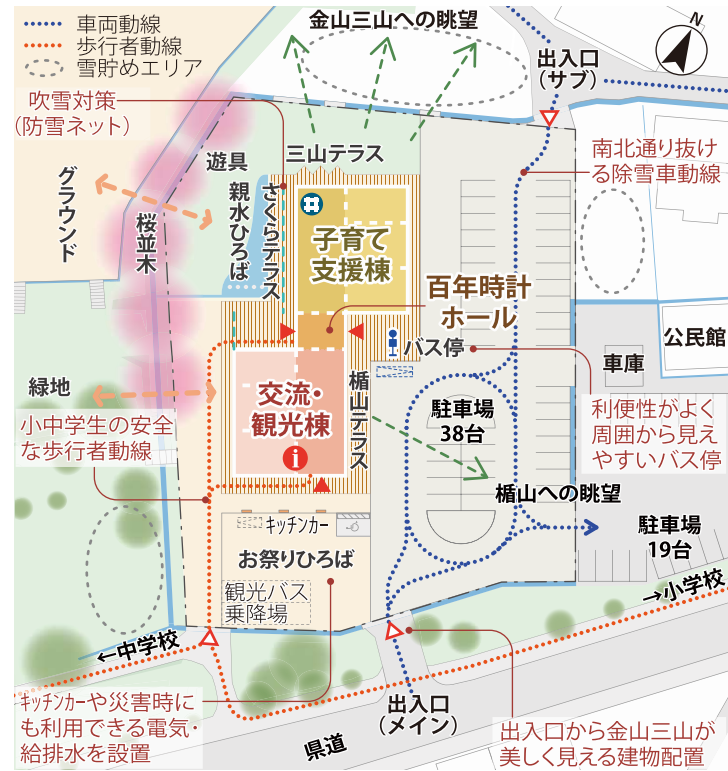
- 金山三山や桜並木を望む落ち着いた空間で、幅広い年齢の子どもが、のびのびと過ごす場
- 活動の中心となるきかなすホールに放課後子ども教室・学童保育・インクルーシブ室が面する構成
- 裸足で駆け回れる金山杉フローリング仕上げ
- サークルゾーン
・絵本などの低い本棚、可動のテーブル・いす、楽しい室内遊具



山並みを活かし賑わいを創出する配置計画 安全性と雪処理に配慮した動線計画

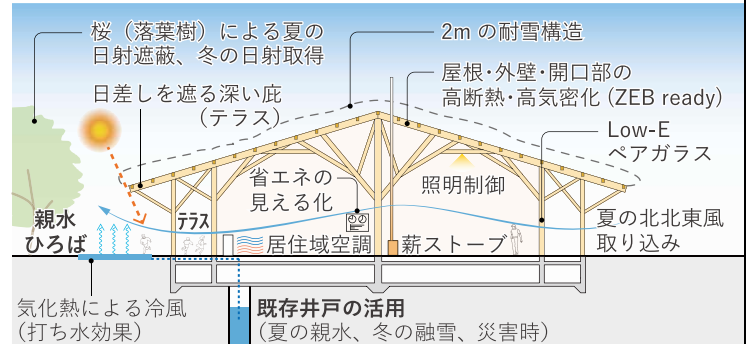
配置計画

- 建物をグラウンド・緑地と一体利用しやすい敷地西側に配置
- 明快な歩車分離、利用しやすいバス停、スムーズな雪処理動線
- 県道側の交流・観光棟と北側の子育て支援棟を繋ぐ百年時計ホール



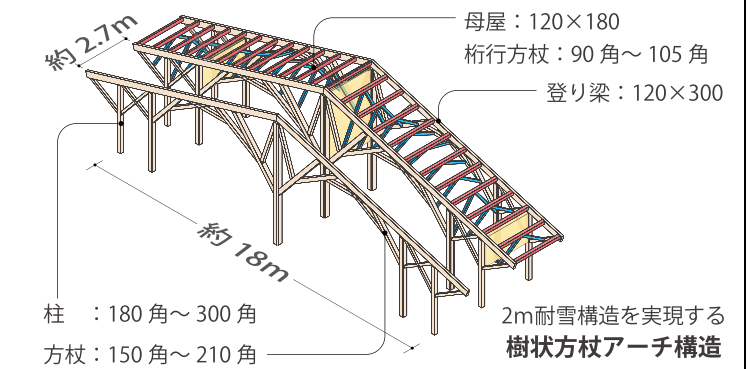
まるごと金山学の教材となる木造施設 課題(3)

- 金山の気候風土と呼吸した自然エネルギー活用とその体感・見える化(太陽光・熱・風・井戸水等)
- 貴重な既存井戸の保全活用(夏の親水・冬の融雪・災害時)
- 省エネ目標は ZEBready + α (将来的な創エネの準備)
- 建設プロセスを子どもたちの金山学の教材に(金山杉の伐採・製材・金山大工の仕事の見学、塗装 WS 等)



持続可能な地場産業の育成 課題(4)

- 金山杉のショールームとなるような魅力的な施設
- 金山を訪れる人びとが金山杉のすばらしさを体感できる施設
- 床・壁・天井板だけでなく、柱・梁も魅せる真壁づくり
- 内装制限等を緩和するコスパの良い水道直結型スプリンクラー
- 製材の組合せて 2m 耐雪構造を実現する「樹状方杖アーチ構造」



- 金山杉・森林組合・金山大工の最大活用
- JAS 材の不要な構造計算ルート
- 地元でできる製材・乾燥・品質確認方法
- 金山大工の技術が発揮できる真壁づくり
- 金山杉住宅をつくる会のネットワークを活用し、若手大工を育成



災害時の一時的な避難を支援する場 課題(5)

- 十分な耐震性
2m の積雪荷重 + 重要度係数 1.25
 - 電源確保
5 kVA 小型発電機により井戸ポンプ・通信系等の電源
 - 浸水想定区域を外した建物配置
- 事務室
▶災害対策本部の出張所
- お祭りひろば
▶薪を活用した防災かまどベンチ
- 対面キッチン
▶炊き出し
- すこだまホール
▶一時避難所
家具は全て可動
- WC (トイレ)
▶井戸水の活用
- 会議室
▶救援物資の受入
▶救護室
- 学童
▶放課後子ども教室
▶要支援者避難所